

2020年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)



2021年2月12日

上場会社名 フジコピアン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7957 URL http://www.fujicopian.com
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)赤城 貴太郎
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役常務執行役員 管理部長 (氏名)上田 正隆 (TEL) (06)6471-7071
 定時株主総会開催予定日 2021年3月25日 配当支払開始予定日 2021年3月4日
 有価証券報告書提出予定日 2021年3月25日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期の連結業績 (2020年1月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期	7,544	△16.0	△115	—	△80	—	△180	—
2019年12月期	8,977	△4.3	429	△33.9	453	△31.5	314	△34.8
(注) 包括利益	2020年12月期		△289百万円 (—%)		2019年12月期		459百万円 (171.1%)	

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率	
	円 銭	円 銭	%	%	%	
2020年12月期	△118.08	—	△1.8	△0.5	△1.5	
2019年12月期	205.52	—	3.1	2.6	4.8	
(参考) 持分法投資損益	2020年12月期		—百万円	2019年12月期		—百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産		
	百万円	百万円	%	円 銭		
2020年12月期	15,904	10,092	63.5	6,591.79		
2019年12月期	16,860	10,476	62.1	6,842.30		
(参考) 自己資本	2020年12月期		10,092百万円	2019年12月期		10,476百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年12月期	794	△673	△309	4,578
2019年12月期	680	△799	△814	4,769

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年12月期	—	0.00	—	62.00	62.00	94	30.2	0.9
2020年12月期	—	0.00	—	40.00	40.00	61	—	0.6
2021年12月期(予想)	—	0.00	—	40.00	40.00		51.0	

3. 2021年12月期の連結業績予想 (2021年1月1日～2021年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,900	△3.2	20	△68.6	40	△48.1	20	△30.6	13.06
通期	8,100	7.4	150	—	180	—	120	—	78.38

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期	1,789,487 株	2019年12月期	1,789,487 株
② 期末自己株式数	2020年12月期	258,435 株	2019年12月期	258,315 株
③ 期中平均株式数	2020年12月期	1,531,067 株	2019年12月期	1,531,255 株

(参考) 個別業績の概要

1. 2020年12月期の個別業績（2020年1月1日～2020年12月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期	7,153	△15.9	△229	—	△163	—	△248	—
2019年12月期	8,504	△5.3	264	△48.9	333	△42.3	220	△46.7

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期	△162.21	—
2019年12月期	143.97	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2020年12月期	15,304		9,678		63.2	6,321.42		
2019年12月期	16,286		10,118		62.1	6,608.13		

(参考) 自己資本 2020年12月期 9,678百万円 2019年12月期 10,118百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響をあたえる不確実な要因にかかる本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

上記の予想に関する事項については、3ページ「1.経営成績等の概況（4）今後の見通し」を参照してください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(追加情報)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の流行拡大の影響により経済活動が停滞し、厳しい状況が続きました。経済活動の段階的な再開により一部で持ち直しの動きがみられたものの、新型コロナウイルス感染症の再拡大による緊急事態宣言の再発出や米中貿易摩擦問題への懸念などから、先行きは極めて不透明な状況にあります。

当グループを取り巻く事業環境におきましても、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行拡大にともない、国内外の移動制限や取引先の生産活動の減少などにより事業活動に多大な影響が生じました。こうした状況のもと、主力のサーマルトランスファーメディアの市場をはじめ、修正テープや機能性フィルム「F I X F I L M」の市場においても環境の厳しさが一層増してきております。

また、当グループの強みである創造型企業としての技術基盤をもとに、新製品の開発および新市場の開拓を重点課題とし、多様化・高度化する顧客のニーズに対応する開発に努めてまいりましたが、上記のとおり、新型コロナウイルス感染拡大にともなう様々な制約を受けた中での活動を余儀なくされました。

一方、生産面におきましては、海外生産拠点であるエフシー ベトナム コーポレーション(当社子会社)の活用強化による生産効率化、グループ全体でのコスト削減の推進による収益の改善に取り組んでまいりました。

この結果、連結売上高は、主力製品を中心に拡販に努めましたが、75億4千4百万円(前年同期比16.0%減)となりました。

利益面におきましては、当社子会社の業績が比較的堅調に推移し、また、グループを挙げた生産の効率化や販売費および一般管理費の抑制に努めるなどコスト削減に取り組んでまいりましたが、売上高の減少の影響が大きく、また高付加価値製品の販売鈍化により、営業損失は1億1千5百万円(前年同期 営業利益4億2千9百万円)となりました。経常損失は8千万円(前年同期 経常利益4億5千3百万円)となり、親会社株主に帰属する当期純損失は法人税等の計上などにより、1億8千万円(前年同期 親会社株主に帰属する当期純利益3億1千4百万円)となりました。

品目別売上高の状況は、次のとおりであります。

サーマルトランスファーメディアは、主力のバーコード用リボンを中心に拡販に努めましたが、42億8千1百万円(前年同期比16.8%減)となりました。

インパクトリボンは、市場の縮小傾向が続くなか、選択と集中にもとづく営業活動を展開しましたが、6億9千4百万円(前年同期比18.4%減)となりました。

テープ類は、市場環境が厳しいなか、14億6千1百万円(前年同期比13.3%減)となりました。

機能性フィルムは、電子材料分野を中心に拡販に努めたものの、3億7千2百万円(前年同期比10.5%減)となりました。

その他は、7億3千4百万円(前年同期比16.3%減)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産は、159億4百万円(前連結会計年度末比5.7%減)と、前連結会計年度末に比べ9億5千5百万円の減少となりました。これは、主に建物及び構築物の増加の一方で、受取手形及び売掛金の減少などによるものであります。

負債は、58億1千2百万円(前連結会計年度末比8.9%減)と、前連結会計年度末に比べ5億7千1百万円の減少となりました。これは、主に電子記録債務を決済したことなどによるものであります。

純資産は、100億9千2百万円(前連結会計年度末比3.7%減)と、前連結会計年度末に比べ3億8千4百万円の減少となりました。これは、主に利益剰余金の減少などによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度の営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の回収、減価償却費の内部留保などにより、7億9千4百万円の収入となり、前年同期比では1億1千4百万円の収入の増加となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出などにより、6億7千3百万円の支出となり、前年同期比では1億2千5百万円の支出の減少となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入があった一方で、長期借入金の返済などもあり、3億9百万円の支出となり、前年同期比では5億4百万円の支出の減少となりました。

この結果、現金及び現金同等物の当連結会計年度末残高は、期首残高に比べ1億9千万円減少し、45億7千8百万円となりました。

今後につきましては、当グループはキャッシュ・フローの健全化の維持・改善に向け、収益性の向上、経営活動の効率化に取り組み、財務体質のさらなる強化を図ってまいります。

(4) 今後の見通し

今後の経営環境につきましては、新型コロナウイルス感染症の流行拡大による経済活動への影響や米中貿易摩擦の懸念などから先行き不透明な状況が継続することが見込まれます。

こうした環境において、当グループでは力強さは欠けるものの需要の持ち直しが進むなかで重点課題でもあります新製品、新規事業の開発や新規顧客開拓を従来にも増してスピードを上げ、全社一丸となって取り組んでまいります。また、国内外の拠点を活用して、特長ある付加価値の高い新製品を積極的に市場投入していくほか、既存製品のコストダウン実現によるシェアアップなどにより、販売拡大を図るとともに収益の確保に努めてまいります。

通期（2021年12月期）の連結業績としましては、売上高81億円、営業利益1億5千万円、経常利益1億8千万円、親会社株主に帰属する当期純利益1億2千万円を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当グループは、連結財務諸表の期間比較可能性および企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当連結会計年度 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,769,074	4,578,459
受取手形及び売掛金	2,410,416	1,777,418
電子記録債権	529,520	608,530
商品及び製品	567,396	581,094
仕掛品	569,010	541,320
原材料及び貯蔵品	505,506	450,678
その他	87,101	71,920
貸倒引当金	△2,910	△2,429
流動資産合計	9,435,115	8,606,995
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,028,235	7,259,724
減価償却累計額	△4,768,775	△4,856,100
建物及び構築物（純額）	2,259,460	2,403,623
機械装置及び運搬具	11,558,439	11,737,758
減価償却累計額	△10,234,726	△10,359,693
機械装置及び運搬具（純額）	1,323,712	1,378,064
土地	1,679,923	1,679,923
リース資産	471,052	469,716
減価償却累計額	△188,025	△224,458
リース資産（純額）	283,026	245,257
建設仮勘定	132,277	13,758
その他	1,104,678	1,094,421
減価償却累計額	△927,525	△937,021
その他（純額）	177,153	157,400
有形固定資産合計	5,855,553	5,878,027
無形固定資産		
ソフトウェア	31,737	22,613
リース資産	585	31
その他	38,464	36,260
無形固定資産合計	70,787	58,904
投資その他の資産		
投資有価証券	1,328,857	1,182,007
長期貸付金	74	—
その他	170,210	178,869
貸倒引当金	△100	—
投資その他の資産合計	1,499,042	1,360,877
固定資産合計	7,425,383	7,297,809
資産合計	16,860,498	15,904,804

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当連結会計年度 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	519,690	458,999
電子記録債務	861,159	686,202
短期借入金	138,577	92,254
1年内返済予定の長期借入金	1,069,767	420,364
リース債務	101,379	14,190
未払法人税等	27,541	21,747
未払消費税等	9,889	9,511
設備関係支払手形	10,480	1,969
設備関係電子記録債務	270,828	240,166
その他	352,530	275,898
流動負債合計	3,361,845	2,221,305
固定負債		
長期借入金	1,959,355	2,538,991
リース債務	26,906	23,997
長期末払金	—	7,500
繰延税金負債	151,217	132,940
役員退職慰労引当金	164,395	181,283
退職給付に係る負債	716,227	702,603
資産除去債務	3,811	3,811
固定負債合計	3,021,914	3,591,127
負債合計	6,383,759	5,812,432
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,791,796	4,791,796
資本剰余金	2,995,928	2,995,928
利益剰余金	2,638,938	2,363,210
自己株式	△421,184	△421,413
株主資本合計	10,005,478	9,729,522
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	410,424	314,162
為替換算調整勘定	58,521	46,162
退職給付に係る調整累計額	2,313	2,525
その他の包括利益累計額合計	471,259	362,849
純資産合計	10,476,738	10,092,372
負債純資産合計	16,860,498	15,904,804

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
売上高	8,977,569	7,544,618
売上原価	6,593,769	5,844,222
売上総利益	2,383,800	1,700,395
販売費及び一般管理費	1,954,170	1,815,859
営業利益又は営業損失(△)	429,630	△115,463
営業外収益		
受取利息	956	473
受取配当金	39,698	39,247
保険返戻金	1,417	—
その他	17,738	25,014
営業外収益合計	59,811	64,735
営業外費用		
支払利息	25,581	20,913
為替差損	10,026	7,136
その他	669	1,249
営業外費用合計	36,277	29,299
経常利益又は経常損失(△)	453,164	△80,027
特別損失		
固定資産廃棄損	17,231	32,277
投資有価証券評価損	12,525	13,996
特別損失合計	29,756	46,273
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失(△)	423,407	△126,301
法人税、住民税及び事業税	109,165	31,971
法人税等調整額	△457	22,522
法人税等合計	108,707	54,493
当期純利益又は当期純損失(△)	314,699	△180,794
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)	314,699	△180,794

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
当期純利益又は当期純損失(△)	314,699	△180,794
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	165,918	△96,262
為替換算調整勘定	△29,423	△12,359
退職給付に係る調整額	8,078	211
その他の包括利益合計	144,573	△108,410
包括利益	459,273	△289,204
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	459,273	△289,204

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自2019年1月1日至2019年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	4,791,796	2,995,928	2,439,088	△420,881	9,805,931
当期変動額					
剰余金の配当			△114,849		△114,849
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)			314,699		314,699
自己株式の取得				△302	△302
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	199,849	△302	199,546
当期末残高	4,791,796	2,995,928	2,638,938	△421,184	10,005,478

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	244,505	87,944	△5,764	326,685	10,132,617
当期変動額					
剰余金の配当					△114,849
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)					314,699
自己株式の取得					△302
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	165,918	△29,423	8,078	144,573	144,573
当期変動額合計	165,918	△29,423	8,078	144,573	344,120
当期末残高	410,424	58,521	2,313	471,259	10,476,738

当連結会計年度(自2020年1月1日至2020年12月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	4,791,796	2,995,928	2,638,938	△421,184	10,005,478
当期変動額					
剰余金の配当			△94,932		△94,932
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△180,794		△180,794
自己株式の取得				△229	△229
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	△275,727	△229	△275,956
当期末残高	4,791,796	2,995,928	2,363,210	△421,413	9,729,522

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	410,424	58,521	2,313	471,259	10,476,738
当期変動額					
剰余金の配当					△94,932
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)					△180,794
自己株式の取得					△229
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△96,262	△12,359	211	△108,410	△108,410
当期変動額合計	△96,262	△12,359	211	△108,410	△384,366
当期末残高	314,162	46,162	2,525	362,849	10,092,372

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失(△)	423,407	△126,301
減価償却費	472,456	509,291
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△7,774	△13,297
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	17,458	16,887
受取利息及び受取配当金	△40,654	△39,720
保険返戻金	△1,417	—
支払利息	25,581	20,913
固定資産廃棄損	17,231	32,277
投資有価証券評価損益 (△は益)	12,525	13,996
売上債権の増減額 (△は増加)	327,170	551,873
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△86,437	64,253
仕入債務の増減額 (△は減少)	△232,210	△234,034
未払又は未収消費税等の増減額	△18,276	17,557
その他	2,608	25,603
小計	911,667	839,301
利息及び配当金の受取額	40,654	39,720
利息の支払額	△25,303	△20,731
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△246,758	△63,466
営業活動によるキャッシュ・フロー	680,261	794,824
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△754,666	△660,883
無形固定資産の取得による支出	△4,720	—
投資有価証券の取得による支出	△34,474	△6,921
貸付けによる支出	△3,000	△590
貸付金の回収による収入	368	383
保険積立金の払戻による収入	1,422	—
その他	△4,409	△5,559
投資活動によるキャッシュ・フロー	△799,480	△673,571

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	31,859	△43,562
長期借入れによる収入	800,000	1,000,000
長期借入金の返済による支出	△1,424,111	△1,069,538
リース債務の返済による支出	△107,670	△101,336
自己株式の取得による支出	△302	△229
配当金の支払額	△114,360	△95,028
財務活動によるキャッシュ・フロー	△814,585	△309,695
現金及び現金同等物に係る換算差額	△13,309	△2,171
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△947,113	△190,614
現金及び現金同等物の期首残高	5,716,187	4,769,074
現金及び現金同等物の期末残高	4,769,074	4,578,459

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積りについて)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大にともなう国内外の移動制限や緊急事態宣言等により経済活動が停滞したことから、当グループの事業活動も影響を受けております。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響について、今後の収束時期を正確に予測することは困難な状況にありますが、当グループでは、翌連結会計年度の一定期間にわたりその影響は継続しますが、翌連結会計年度末に向けて収束に向かい、受注も徐々に回復していくものと仮定して、繰延税金資産の回収可能性等に関する見積りを行っております。その結果、当連結会計年度において繰延税金資産の回収可能性の見直しを行い、その一部を取崩しております。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大にともなう影響は不確実性が高いため、上記仮定に変化が生じた場合には、将来における財政状態、経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

当グループは、インク製造技術、塗布技術を技術基盤として、印字記録媒体および事務用消耗品関連事業を主な業務とした単一セグメントで事業活動を行っておりますので、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)		当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	
1株当たり純資産額	6,842.30円	1株当たり純資産額	6,591.79円
1株当たり当期純利益金額	205.52円	1株当たり当期純損失金額(△)	△118.08円

(注) 1 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 算定上の基礎

1. 1株当たり純資産額

項目	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当連結会計年度 (2020年12月31日)
純資産の部の合計額(千円)	10,476,738	10,092,372
純資産の部の合計額から控除する金額 (千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	10,476,738	10,092,372
普通株式の発行済株式数(株)	1,789,487	1,789,487
普通株式の自己株式数(株)	258,315	258,435
1株当たり純資産額の算定に用いられた 普通株式の数(株)	1,531,172	1,531,052

2. 1株当たり当期純利益金額

項目	前連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失 (△)(千円)	314,699	△180,794
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益又は親会社株主に帰属する 当期純損失(△)(千円)	314,699	△180,794
普通株式の期中平均株式数(株)	1,531,255	1,531,067

(重要な後発事象)

該当事項はありません。